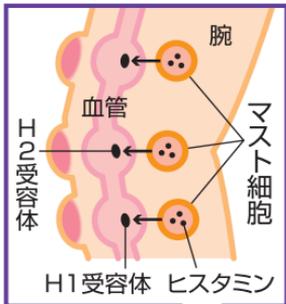


じんましんを繰り返し発症します。治療法は？
抗ヒスタミン剤やH2ブロッカーを処方します
立川皮膚科クリニック
www.tachikawa-derma.com

じんましんの発症のしくみ



突然、皮膚の一部が赤く盛り上がり、かゆみを伴う「じんましん」。その原因と治療法を「立川皮膚科クリニック」の伊東秀記先生に聞きました。

— 症状は？
「皮膚が虫刺されのようない状態に盛り上がり、強いかゆみがあります。数時間から1日程度で症状が治まるのが特徴ですが、急性と慢性の2種類があり、慢性の場合は数カ月から数年にわたって発症を繰り返します」

— 原因は？
「約6割が特発性で、原因がはっきりとしない場合があります。ストレスや疲労、食べ物、寒冷、日光や、アレルギー反応で起こる場合も多く、原因は多岐にわたります。これらの刺激により、マスト細胞内に蓄えられている「ホルモン」ヒスタミンが放出され、H1受容体と結合し、血管を拡張させて皮膚が腫れ、皮膚の知覚神経を刺激することで、強いかゆみを生じさせます」

— 治療法は？
「抗ヒスタミン剤の内服薬を処方し、効果が不十分な場合は、内服時間を変えたり、H2ブロッカーを処方します。自分の判断でかゆみ止めなどの塗り薬を使用せず、皮膚科の医師に相談を」

院長：伊東秀記
日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、東京慈恵会医科大学医学部卒業



休診日：日曜、祝日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30~13:30	○	○	○	○	12:30まで受け付け	○
15:00~19:30	○	○	○	○	18:30まで受け付け	17:30まで受け付け

問い合わせ
☎042-843-1377
JR「立川」駅南口徒歩2分

2019年3月9日付 「リビング多摩」に掲載されました